

2026 年 9 月 24 日

報道機関 各位

日本とケニアの医療連携で肺がん診断体制を強化 長崎大学病院がケニアで超音波気管支鏡研修を実施



長崎大学病院での研修の様子（2026 年）

長崎大学病院は、2026 年 10 月 27 日（火）から 29 日（木）まで、ケニア共和国ナイロビのケニヤッタ国立病院において、超音波気管支鏡検査に関する現地研修および技術指導を実施する予定です。

本研修は、長崎大学とケニヤッタ国立病院が連携して進める国際協力プロジェクト（※）の一環として実施するものです。

今回の現地研修には、2026 年 8 月に日本で研修を受けたケニヤッタ国立病院の医師、看護師、臨床工学技士ら 4 名が指導者として参加し、長崎大学病院の医療従事者とともに、ケニヤッタ国立病院の医療従事者等に対する研修・技術指導を行います。詳細は次ページ以降をご参照ください。

ケニヤッタ国立病院での現地取材等をご希望の報道機関の方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

（ケニア現地研修 予定スケジュール） ※変更の可能性がありますので事前にご確認ください。

- ・ 10 月 24 日（土）日本出発
- ・ 10 月 25 日（日）ケニア着
- ・ 10 月 26 日（月）ケニヤッタ国立病院訪問
- ・ 10 月 27 日（火）～10 月 29 日（木） 超音波気管支鏡検査に関する実技指導
- ・ 10 月 29 日（木）ケニア発
- ・ 10 月 31 日（土）日本着

（ケニヤッタ国立病院現地研修参加予定者）

長崎大学病院より参加（5 名）

- ・呼吸器内科 医師 竹本 真之輔 ・呼吸器内科 医師 本田 徳鷹 ・総合感染症科 医師 増田 真吾
- ・呼吸器外科 医師 木谷 聡一郎 ・ME 機器センター 臨床工学技士 久田 晋也

長崎大学熱帯医学研究所ケニアプロジェクト拠点より参加（3 名）

- ・医師 齊藤 信夫 ・医師 彦根 麻由 ・医師 高泉 優

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学病院 総務課（広報・評価・国際）

MAIL : mhweb@ml.nagasaki-u.ac.jp TEL : 095-819-7790

(プロジェクトの背景・詳細)

ケニアでは、肺がんの早期診断に必要な気管支鏡診療体制や専門人材が十分に整備されておらず、診断や治療の開始が遅れることが課題となっています。特に、肺がんの確定診断に重要な役割を果たす超音波気管支鏡検査（EBUS：Endobronchial Ultrasound）を実施できる医療機関や医療従事者は限られており、診断体制の強化と人材育成が求められています。

こうした課題を背景に、本プロジェクトは2025年度に開始されました。長崎大学病院及び亀田総合病院（千葉県）での研修受入れとケニア現地での技術指導を組み合わせ、ケニアにおける肺がん診断技術の向上と医療人材の育成に取り組んでいます。

研修では、オリンパス株式会社の超音波気管支鏡を活用し、検査手技に加え、機器の操作、保守管理、洗浄・消毒など、実際の診療を継続して行うために必要な知識・技術についても実践的な指導を行っています。

これにより、ケニアの医療従事者が日本製医療機器を適切かつ継続的に活用できる知識・技術を身につけるとともに、現地で持続的に診療を行うための体制づくりを進めています。また、日本の医療技術・医療機器に対する理解を深めることで、将来的な導入・普及につなげることも目指しています。

さらに、研修の実施にあたっては、AA Health Dynamics 株式会社による教育コンテンツの制作及び現地運営支援のもと、現地の医療従事者が自ら研修を企画・運営できる「自走型研修体制」の構築を進めています。

今後は、ケニヤッタ国立病院を中核拠点として研修を継続し、その成果をケニア国内にとどまらず、東アフリカ地域全体へ波及させることを目指します。

(2026 年度の取組)

2026 年 8 月 10 日から約 2 週間にわたり、長崎大学病院はケニヤッタ国立病院の医師、看護師、臨床工学技士ら 4 名を受け入れ、シミュレーターを用いた気管支鏡検査手技などの研修を実施しました。

その後、研修生は亀田総合病院において 5 日間の研修を受講し、気管支鏡診療や関連機器に関する知識・技術を学びました。

今年度の現地研修では、昨年度の研修修了者も指導者として参加し、日本側の医療従事者と共同で研修を実施します。

また、昨年度から作成・蓄積してきた教育コンテンツを活用し、現地の研修生は事前にオンライン講義を受講したうえで、ハンズオントレーニング（実技研修）を集中的に行う予定です。

こうした取組を通じて、ケニア側の医療従事者が現地で知識や技術を伝える役割を担い、継続的な人材育成体制の強化につながることが期待されます。



長崎大学病院での研修の様子（2026 年）



長崎大学病院での研修の様子（2026 年）



長崎大学病院での研修の様子（2026 年）



学長表敬訪問の様子（2026 年）

（2025 年度の取組）

2025 年 9 月 16 日から 26 日にかけて、ケニヤッタ国立病院の医師、看護師、臨床工学技士ら 4 名を長崎大学病院に受け入れ、シミュレーターを用いた気管支鏡検査手技などの研修を実施しました。その後、亀田総合病院およびオリンパス株式会社を訪問し、気管支鏡診療や関連機器について学び、研修を修了しました。

また、2025 年 11 月 25 日から 27 日には、長崎大学病院の医師 5 名、看護師 1 名、臨床工学技士 2 名がケニヤッタ国立病院を訪問し、現地での技術指導及び教育コンテンツの制作を行いました。

現地訪問初日には開会のセレモニーが開催され、ケニア保健副大臣、在ケニア日本国大使、ケニヤッタ国立病院 CEO らが出席しました。関係者からは、本プロジェクトを通じたケニアの肺がん診断体制の強化や人材育成に対する期待が寄せられました。



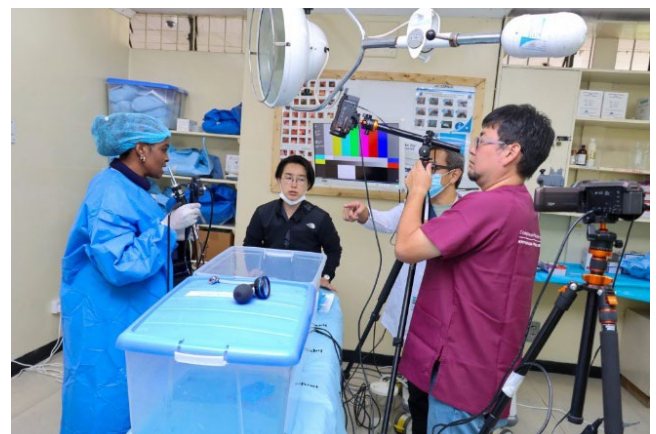
長崎大学病院での研修の様子（2025 年）



ケニア現地での開会セレモニーでの記念撮影（2025 年）



ケニヤッタ国立病院での技術指導の様子（2025 年）



気管支鏡洗浄のマニュアル動画撮影風景（2025 年）

（※国際協力プロジェクトについて）

本プロジェクトは、国立健康危機管理研究機構（JIHS）の「医療技術等国際展開推進事業」に採択された事業として実施しています。本事業は、超音波気管支鏡検査（EBUS-TBNA、EBUS-GS）の導入と内視鏡看護・臨床工学士による機器メンテナンス技術を導入することで、気管支鏡診療の向上を通じた医療水準の改善を目的としています。



- ・国立健康危機管理研究機構（JIHS）「医療技術等国際展開推進事業」
<https://kyokuhp.jihs.go.jp/activity/open/index.html>

（参考：昨年度の本プロジェクトに関する記事）



- ・長崎大学ホームページ記事（2025 年 9 月）
「ケニアの医療向上へ連携強化 ― ケニヤッタ国立病院医師らが長崎大学永安学長を表敬訪問」
<https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/news/news4751.html>



- ・長崎大学ホームページ記事（2025 年 12 月）
「ケニヤッタ国立病院で超音波気管支鏡研修を実施―ケニアにおける肺がん診断体制強化を支援」
<https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/news/news4854.html>



- ・熱帯医学研究所ホームページ記事（2025 年 12 月）
「アフリカの気管支鏡レベル向上へ ― 長崎大学が気管支鏡トレーニングをケニアで実施―」
<https://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/nairobi/?p=3938>



- ・熱帯医学研究所ホームページ記事（2026 年 1 月）
「ケニヤッタ国立病院自走型の気管支鏡研修が始動」
<https://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/nairobi/?p=4056>